

第3回 学校運営協議会 会議録

実施日：令和5年2月17日（金）

場 所：六郷高等学校会議室

1 学校運営協議会会長挨拶

今年度の最終回ということもあり、来年に向けた課題が見つかるといいと思う。学習意識調査の質問14から本校生のボランティアに対する意識がとても高く、まさに校訓：笹竹の精神にリンクしている。今後もこうした意識を伸ばしていきたい。また、質問5と6により生徒の大半が県内就職を考えている点も本校の特色と言える。キャリア教育において、地域が学校に入り込んでタイアップしてできることがある。生徒たちがコミュニケーション能力を向上させ早期離職防止につなげていくことができればいい。

2 校長挨拶

今年度はおかげさまで教育活動を無事に進めている。その中でも地域連携形式で行っている事業が多くある。地域と交流する機会をいただけることは、本校の生徒にとって宝物である。生徒が人間的に成長できる場面をいただけることに改めて感謝申し上げたい。本日は、忌憚のないご意見をよろしくお願いしたい。

3 全体会 I

本日の協議について概要説明

資料令和4年度CSの歩みに示したように、おかげ様で関係各位のご協力をいただきながら各事業を実施することができた。改めて感謝申し上げたい。また、来年度の年間計画をお出ししたが、現在校内で調整中のため変更する場合があるので、お含みおきいただきたい。分科会会場と今年度の各部会の目標を確認いただきたい。

4 CS学習意識調査に基づいた生徒と委員による協議（各部会に分かれて）

5 全体会 II

<各専門部会からの報告>

・学習活動部会

参加生徒から今年度を振り返っての学習活動で楽しかったことやのめりこんだこと、さらにきつかったことについて話をしてもらった。全体を通して、学習に限らず、良い面だけでなく、悪い面（嫌なこと）も経験することが大切である。

また、現在美郷町では、「美郷と生きる」をテーマにした資料を作成している。高校生にも配付予定であるが、職業を知る一端となるようなものにしたい。学習部会ということであるが、キャリア教育ともつながってくる話である。自分の興味があるものだけでなく、それに関係するものも調べることで視野を広げ、自分に合うものを見つける判断材料にしてもらいたい。

・地域貢献部会

今までのボランティア活動で印象に残っていることやボランティア活動をとおして成長できた点について参加生徒から話をしてもらった。最後にボランティアとは何かということについて、世代の違う人や普段接することのない人と交流ができ、それによって視野を広げ、自分の成長につなげていくことができる。さらに自分にできることは何かと考える機会になり、それによって「楽しいもの」にしていくことができるというまとめに至った。

・キャリア部会

参加生徒から各々の進路希望と現在それに向かって頑張っていることについて話をしてもらい、それに対して委員の方々から助言やご意見などをいただいた。そのやりとりから4点報告したい。1点めは、自分の希望する進路に向かって主体的に学んでいくことで、色々な助けを受けることができる。実際、身近なところに実践的に考え、学ぶ場所があるので積極的に活用してほしい。2点めは、今は仕事を選べる時代であるから自分がやりたいことを一番に考えて行動してほしい。3点めは、資格取得はとても意義があり、社会人としての勲章のようなものである。だから積極的に挑戦してほしい。これからはAIの時代だが、資格取得は依然必要である。ある意味、それはAIに取って代わられずに残る仕事なのかもしれない。だからこそ資格取得をとおして能力を高めていくことは大切である。最後の4点めは、何事も積極的に頑張るためにも心身を健康にしていくことが大切である。今後も六高生が目標に向かって前進していくことに期待したい。

<令和4年度の振り返り>

保護者アンケートについて、全体的に良い評価いただいているが、進路、学習、生活指導に関する要望がある。これらを受け止め、次年度の改善に活かし、学校教育活動に反映させていきたい。職員からのアンケートでも昨年より評価が若干上がっている。各分掌の成果と課題については、後でご覧おきいただきたいが、より良い組織を目指して次年度に引き継ぐことを確認したい。アンケート結果については年度内に本校のホームページに掲載を予定している。

<質問・意見等>

- ①次年度に改善すべき点の中にある高校特別支援隊とはどのようなものか。
- ②他校のCSの進捗状況は、地域連携という点で苦戦をしているところもあるようだ。本校についても、キャリア教育やボランティア等、学校としてやりたいことを地域に遠慮なく教えてもらいたい。CSとしても、生徒と地域社会が交流する機会を今以上に作っていきたい。
- ③分科会の感想として、子供たちの現状を聴くことができ楽しかった。今日の会議に参加した生徒はみな自分の考えをもっている。しかし、それ以外の生徒の意見も聴きたかった。

6 その他

秋田県教育委員会が出している「児童会、生徒会によるいじめ防止取組事例集」で本校の「いじめ防止標語コンテスト」が取り上げられていることを紹介したい。

<質問・意見等>

①六高生は美郷の花であり、各種イベントへの参加をとおして、賑わいを創出していただき感謝を申し上げたい。今後も、学校側から様々な提案をいただき、地域や町の施設などを利用して、これまで以上に町を盛り上げるお手伝いをお願いしたい。

②前回の会議から宿題となっていた新聞の導入に関連して、3月から2年部で読売新聞で出しているワークシートを導入する予定である。1年部はさらに検討中である。(進路指導主事)

③高校入試に関連して、本校として目指すべきかお話ししたい。主な取り組みとして、目標をもって活動に臨み、就職に値する人を地域に輩出したい。中学生には、美郷町に就職するなら六郷高校に任せてください、というスタンスで本校のPRにこれまで以上に努めたい。(校長)

7 学校運営協議会副会長より

子どもたちと直接対話ができただことは貴重な機会だった。分科会で学習や進路活動等、子どもたちが楽しく、一生懸命にのめりこめたことを伺った。このことから子どもたちが生き生きと学習活動にのめりこめる場面を多く作ることは学校としての使命である。この点に留意して学校として頑張っていたいただきたい。地域と連携しての教育を考えた時、教育課程を色々と工夫することも必要になってくるだろう。それに向けて何が必要か一つずつ改善して行ってほしい。子どもたちが生き生きと頑張るいい姿をさらに情報発信していくことを期待したい。